



クールシティ推進事業

2019年度予算(案)
57百万円(38百万円)

水・大気環境局
大気環境課大気生活環境室

事業目的・概要等

背景・目的

- 気候変動やヒートアイランド現象等による気温上昇に伴う人への暑熱ストレスの増大
- 人工排熱の排出抑制等の「緩和策」には長期的な取組が必要
- ヒートアイランド対策大綱や気候変動の影響への適応計画において暑熱対策は重要な対策として位置

事業概要

- 暑熱対策を中心としたヒートアイランド対策の強化
- ①暑熱対策分野の適応策推進【新規】
 - ②都市部の観光地等における暑さ指数の調査・検討
 - ③効果的な暑さ指数(WBGT)の情報発信の検討【増額】
 - ④熱中症予防情報の発信体制の強化、多言語化【増額】

事業スキーム



暑熱対策の推進、暑さ指数(WBGT)の発信体制の強化

- ① 政府の「気候変動適応計画」や都道府県及び市町村の「地域気候変動適応計画」の策定の参考となるよう、知見の収集やとりまとめ、これまで検証を行った暑熱対策の情報発信を行う。【新規】
- ② 人が多く集まる都市部の観光地等において、既に公開されている近傍の暑さ指数(WBGT)測定値を活用してより適切な暑さ指数を提供する方法の調査・検討を行う。
- ③ 熱中症対策、暑さ対策の効果を高めるため、暑さ指数の周知及び活用の推進の検討を行う。【増額】
- ④ 平成30年7月豪雨等を踏まえ、災害時でも暑さ指数(WBGT)や熱中症の予防方法、対処方法等の情報を提供出来るよう、熱中症予防情報の発信体制の強化等を行う。また、サイトの多言語化を推進する。【増額】

期待される効果

- 地域気候変動適応計画に健康及び都市生活・国民生活分野の取組として暑熱対策を位置づけ
- 暑さ指数(WBGT)に基づく暑熱回避行動、暑熱対策の推進
- 災害時を含む効果的な熱中症対策の実施



イメージ

